



新庁舎建設計画を作るにあたっての一つの材料となる新庁舎に導入する機能の検討を始めました。第2号では若手職員による検討についてお知らせします。

若手職員による研究部会が発足

第1回目を開催しました

20代から30代の職員で編成された研究部会が発足しました。

現役場庁舎の問題点を明確にし、新庁舎に求める機能について若手職員の柔軟な発想により検討を進めていきます。



↑エレベーターもなく、複雑で分かりにくい庁舎内の経路

多角的な視点で検討を進めます

新庁舎の機能について検討がはじまりました。今後は本研究部会の他に、関連団体へのヒアリングや各懇談会等を通して、様々な意見等をお聞かせいただきながら、子ども連れの方や高齢者、外国人等誰もが安心して、利用しやすい新庁舎となるよう検討してまいります。



↑スペースが不十分な窓口と執務環境

7月25日、第1回目の研究部会を開催し、現役場庁舎の現状と課題について話し合いました。

庁舎の老朽化の他に廊下や待合スペース・執務環境の狭あい化、分かりにくい経路、バリアフリーへの対応が不十分、プライバシーへの配慮不足等様々な問題点が提起されました。

今回判明した庁舎の問題点から、何が不足し、どのように改善していくのか。新庁舎に求める機能について、調査・研究を進め、最終的には若手職員の庁舎整備案を策定。基本計画への反映を目指します。



↑課題について話し合う職員